

第5回 日野川圏域県管理河川の減災対策協議会 議事概要

1 日 時 : 令和元年5月22日(水) 14時30分～15時30分

2 会 場 : 国土交通省日野川河川事務所別館会議室

3 出席者

(委員)

米子市長(代理) 防災安全監 永瀬 良太

日吉津村長(代理) 総務課長 高田 直人

大山町長 竹口 大紀

南部町長(代理) 総務課課長補佐 田中 光弘

伯耆町長(代理) 総務課長 岡本 健司

日南町長(代理) 防災監 高橋 裕次

日野町長 埴田 淳一

江府町長(代理) 総務課長 池田 健一

気象庁 鳥取地方气象台長 川上 徹人

国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所長(代理) 副所長 景山 浩孝

国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所長 西 博之

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所長(代理) 副所長 村松 清

鳥取県 危機管理局長(代理) 危機管理政策課係長 國米 洋一

鳥取県 県土整備部長 草野 慎一

鳥取県 西部総合事務所米子県土整備局長 三鴨 誠

鳥取県 西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局長 新 浩薫

(オブザーバー)

境港市長(代理) 自治防災課長 大道 幸祐

4 議題

(1)「減災に係る取組方針」の見直しについて

(2)今年度の予定について

(3)「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂について

5 議事概要

○「減災に係る取組方針」の見直しについて

「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」の報告書を受け、「ダム放流時の安全・避難対策」を充実させるとともに、「安全で安心して過ごせる避難所の開設」などの対策を追加して取り組んでいくことを確認した。

○減災対策協議会における今年度の取組について

今出水期に向け、ダム事前放流の本格運用やダム放流操作等の住民説明、避難訓練・水防訓練等に取り組んでいること、また、河床掘削・樹木伐採等の治水対策を進めていることなどを説明した。

引き続き、河川カメラや水位計の増設、ダム下流域の浸水想定図の作成、支え愛マップ作りの支援等、円滑な住民避難に資する取組などを進めて行くことを確認した。

○「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂について

避難に関する新たな5段階の警戒レベルについて、当協議会における運用の確認を行った。

(主な意見)

○ 昨年同様、浸水時には国・県による排水ポンプ車等の対応をお願いしたい。また、水貫川の排水機場整備の推進をお願いしたい。

○ 昨年の洪水時に、河川が溢れるくらいの水位となった。河床掘削を早急に進めていただくとともに、国の3か年緊急対策の事業期間延長についても働きかけを行っていただきたい。

○ 県管理ダムにおける事前放流の取組について、国管理のダムにおいても同様に進めていただきたい。